

# 箱根組ニユース

第301号 2018年 新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

## 多峯主山經由で巾着田まで歩き、

12月17日(日)、西武池袋駅発7時10分の快速飯能行きに乗車。飯能駅に8時6分着。降り立ったのは、

星野(幸)「ネギ」、太田「舞茸、シメジ」、神山「コンニャク」、星野親子「うどん」、菊池「ニンジン」、谷田「めんつゆ」、岩岳「ゴボウ」、和田「里芋・じゃがいも」、及川「ゴボウ」、戸丸「牛肉・さつまいも」の11名。遅れて高麗駅で合流の川名夫人「焼き豆腐」とで総勢12名。カッコ内は芋煮と焼き芋の材料分担です。皆のおかげで豪華な芋煮になりました。さて、飯能駅前から8時17分発のバスに乗り本郷バス停で下車。

8時35分、バス停から西方向に向かって歩き出す。本郷交差点を過ぎ、なおも進む。

8時40分、右斜めの細い道に入ってゆく。少し雲はあるが冬晴れの青空が広がっている。すぐ先に農家の方の直売所がある。何か購入する人もいた。このあたりで少し焚き火の材料も拾っておい

## 河原で初挑戦の焚き火台の焼き芋と芋煮鍋で暖まる。

右に山道が始まるのでここに入ってゆく。雑木林の横には狭い谷に田んぼが作られているようだ。いい雰囲気だ。冬枯れの里山が迎えてくれる。

9時5分、多峯主山、御岳八幡神社の標識に沿って林の中に入ってゆく。ふるさと歩道の標識もある。マムシ注意の看板が半分深い木の葉にうずもれている。すぐ先に小さな鳥居がありこれをくぐる。

少し先から石段の道が始まる。どなたかが作った手製の小さな看板に「ありがたや御岳山の落ち葉はき」と書いてある。ふかふかの落ち葉が道の横にたくさんある。

休みながら石段を上ってゆく。農家の方だろうか落ち葉を集めている方がいた。堆肥にして野菜作りに使っているという。美味しい野菜になりますねと声をかけた。

目の前に大きな岩山が見えた。「ロッククライミング禁止、地主」と看板あり。横には馬頭観音ならぬ、珍しい「牛頭天



王」の社がある。この先の石段を登りつめる。

9時30分、御岳八幡神社に到着。小さな神社だがなかなか立派で富士山が見え、周囲の展望もなかなか見事だ。小休止。

9時40分発、社の右側を進んでゆく。ヒノキ林の中の山道だ。少し下ると鞍部に立派なトイレがある。水を使わないバ イオトイレで地元の西川材を使って作られているようだ。そば殻を使ってバクテリアで処理しているようだ。すぐ下には大きな東屋もある。なかなか整備されていて自治体が力を入れているのが伝わってくる。

9時50分、出発。ここから緩やかに登ってゆく。少し行くと左に永田台、横手台方面の分岐が現れる。右方向の山頂を目指す。

現在の収支		
繰越収入	37460	円
支出		
印刷費	1000	円
コピー代	400	円
現在高	36060	円

切手残数	
82円切手	247枚
40円切手	131枚

9時55分、空が広くなつたら、山頂に着。多峯山270、8m。すでに山頂付近にはかなりの人たちが休憩している。人気の山なのだ。眺

望は素晴らしく360度すべて見える。景色を楽しみ、記念撮影。

10時5分、下山開始。まずは北西方向の割と険しい岩場を慎重に降りる。その後は快適な穏やかな尾根道を進む。しばらく歩くと、すぐ左下に住宅地が見えてくる。住宅地のすぐ横の尾根を歩いていたので。

10時35分、左下に大きな道が現れる。高麗武蔵台団地の大きな住宅地の行き止まりの地点だ。直角に左方向にこの車道をゆつくりと下ってゆく。

10時55分、高麗駅前到着。駅前広場には天下大將軍、地下女將軍という真っ赤な魔除けの將軍標が立っている。朝鮮由来の魔除けとか。ここで無事川名夫人と合流。小休止。休んでいると雪雲に乗ってちらちらと雪が舞ってきた。今シーズン初雪。11時4分、巾着田に向かって12名で出発。駅の右側から線路際を右に進み、すぐ

2018年最初は、1月21日(日) 上野原の要害山(536m)から富士山を仰ぎます。

レギュラーコース 歩行4時間

中央本線上野原駅からバスでアプローチします。鏡渡橋から歩き、要害山、コヤシロ山、御林峠稲荷神社と歩き和見入口に下ります。

※念のため軽アイゼンをお持ちください。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、軽アイゼン、雨具、傘、ポットにお湯、カップ、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは1月19日(金)までに

集合 1月21日(日)

京王線新宿駅 6:57発

特急高尾山口行き(前から3両目)

高尾7:40着(JR中央本線乗換)

7:47発 河口湖行き

途中駅発 明大前7:03 調布7:12 府中7:18

分倍河原7:20 聖蹟桜ヶ丘7:23

高幡不動7:26 北野7:33

上野原8:08着(バス乗換)

8:30分発 飯尾行き 鏡渡橋8:44着

新宿～上野原 680円

上野原～鏡渡橋 290円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

に線路を渡る。「台」の信号を渡って大通りを進む。右側には農家の野菜などが道端で売られている。美味しそうなネギやダイコンなど。岩岳さんがここで買ったねぎは後でたき火で焼いて頂いたが甘くておいしかった。生湯葉専門店とノボリのある高麗豆腐の店を過ぎたら右に細い道に入ってゆく。そのあたりも無人販売店がいくつかある。左に曲がると



昨年も登った日和田山が正面に見える。再び大通りに突き当たるが、ここを右折。鹿台橋で高麗川を渡り、高麗本郷の信号手前で右の細い道に入ってゆく。そして右左と曲がる。

11時20分、巾着田の入口に到着。今回は巾着田の南東方向のドレミファ橋付近が宴会の目的地だ。きれいな小さな水路には蛍の餌にもなる巻貝のカワニナやシジミが沢山見られる。水車の横を通りサッカーで盛り上がる運動場横を抜けて、ヒガンバナの群生地を抜けるとドレミファ橋だ。

11時40分、橋の右側の北風を避けられそうなところを宴会場に決める。レジャーシートを敷いて、メインテーブル用のシートを敷き、鍋の位置、初挑戦の焚き火台の位置を決めて、パーティーの開始だ。川名さんの代理の熱燗係は川名夫人だ。

まずは大鍋を設置し、料理班が芋煮を作り始める。並行して熱燗が振舞われ持ち寄りの料理と一緒に進む。

芋煮と並行し今回初めて使うステンレス製の焚き火台を設置し紙や杉の皮などで火をつけると面白いように燃える。しかし灰は全く落ちてこない。煙と火の粉と灰が風で舞うのは致し方ない。申し分ない燃え方で、用意した新聞紙と



ホイ<sup>3</sup>ルで包んださつまいもとジャガイモをここに乘せて焚き火を燃やす。皆、熱燗とおつまみですっかり出来上がったころに芋煮が美味しく完成する。暖かいものは何物にも代えがたくありがたい。残った鍋にはうどんを投入し、仕上げは芋煮うどんだ。焼き芋もうまく焼けて大満足。

暖かい焚き火を見ているのが何といつても幸せだ。焚き火台は隣の団体も興味を引いたらしく副代表とかいう人が見に来て写真を撮っていった。

2時40分、きれいに撤収し、火の始末もすっかりして帰路に着く。

### ●スノーシュー一泊参加者募集

2月17日(土)、18日(日)

奥日光戦場ヶ原付近で

一泊で計画します。

参加希望者はお知らせください。宿を予約します。

